

荒子川へテラピアの稚魚を見に行きました。

平成21年8月22日 天気 晴 水温 28℃

技術士（衛生工学） 本 堀 雷 太



先日、荒子川へテラピアの産卵の様子を見に行きましたが、親魚から巣立った稚魚がどうなったのか見に行ってきました。場所は荒子川下流の荒子川公園(左)です。

上流域で産卵が行われた後、孵化した稚魚はメスの親魚にマウスブリーディング(口内飼育)され、ある程度の大きさになったら親離れします。親離れした稚魚は群れを作り、河川全域に拡散していきます。幼魚の時期には動物性の餌を、成長するにつれ植物性の餌を好むようです。



テラピア稚魚の群れ



テラピアの稚魚(オス)



中型のテラピア個体(オス)



テラピアの親魚(メス)



おなじみのブルーギルです。



鶺鴒が捕食にやって来ました。



ミシシippアカミミガメ